

お知らせ・会務報告

令和3年度日本甲虫学会大会について

令和3年度の大会は、明星大学（東京）で予定されておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、対面での学会開催は不確定要素が多く、困難であると判断いたしました。そのため、今年度の大会はオンラインにて開催することを評議会で承認していただきました。

なお、開催方法の詳細（単独開催又は共催にするか、オンラインツールは何を使用するか、ホストをどうするか等々）については今後速やかに検討し、次号の「さやばね」43号にてご案内、ご説明をさせていただきます。

（会長 大原昌宏）

大阪例会に関するお知らせ

秋季大阪例会は2021年9月25日（土）10:00～16:30に、大阪市立自然史博物館・集会室（大阪市東住吉区長居公園1-23）にて開催します。しかし、新型コロナの感染状況によって、中止となる可能性もあります。また、オンライン開催に変更する可能性もございます。例会日が近くなったら、各自本学会のホームページ等を必ずチェックしてください。

（大阪例会運営幹事 澤田義弘）

名古屋例会に関するお知らせ

秋の名古屋例会は、新型コロナウイルスの変異株による感染の拡大が懸念されるため、中止させていただきます。なお、もしウェブ開催する場合は、甲虫学会のホームページで案内をさせていただきます。

（名古屋例会運営幹事 生川展行）

東京例会に関するお知らせ

日本甲虫学会東京例会は、コロナ禍のため、昨年度は1回も開催できず、今年度（2021年）の3月例会も開催できませんでした。今年度の9月例会につきましても、現段階では会場が使える目途が立っておりません。

可能な対策として、東京例会も大会と同様、オンラインでの開催を検討中です。日時については未確定ではありますが、9月11日（土）午後を仮日程として準備を進めております。例会の内容につきましては、数名の会員の研究発表、自己紹介などを予定しております。

詳しいスケジュール等については今後、学会ホームページでお知らせし、参加ご希望の方は下記幹事宛、電子メールでお申し込みいただき、幹事の方から参加要項をメールでお送りするという段取りになると考えております。

会員各位におかれましては、学会ホームページを随時ご確認いただき、日程が確定しましたら、積極的にご参加いただけますようお願いいたします。遠隔地からのご参加も歓迎です。

以上お問い合わせ先（東京例会担当）：〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1 国立科学博物館動物研究部 野村周平（E-mail: nomura@kahaku.go.jp）

自然保護委員会からのお知らせ

<種の保存法に基づく国内希少野生動植物種の追加指定について>

2021年1月、種の保存法に基づく国内希少野生動植物種に39種が追加指定された。昆虫類ではタイワンタイコウチとタカネヒカゲハケ岳亜種が指定を受けた。甲虫類の追加指定はなかったが、会員には情報提供と注意喚起をしておきたい(詳細は下記のURL参照のこと)。

<https://www.env.go.jp/nature/kisho/pamphlet/pdf/kokunaikisho.pdf>

<自然公園法の一部を改正する法律案について>

2021年3月、野生動物への餌付けなどの行為に対する規制や、国立公園等における禁止行為の違反に対する罰則の引上げなどが盛り込まれた自然公園法の一部を改正する法律案が閣議決定された。法律案は第204回通常国会に提出される予定である。特に後者について、採集時にトラブルが生じないよう会員には事前の情報提供と注意喚起をしておきたい(詳細は下記のURL参照のこと)。

<https://www.env.go.jp/press/109250.html>

2021年度日本甲虫学会賞選考委員会について連絡事項

「日本甲虫学会 学会賞授与規程」に基づき、評議員の互選によって2021年度の学会賞選考委員7名を選出しました(ただし、選考の公平・公正性の観点から委員長以外の6名の委員名は非公開とします)。また、選考委員の互選により、野村周平氏が学会賞選考委員長に選ばれました。委員会は、論文賞、功労賞および奨励賞の各賞候補者を選定し、評議員会への諮問とその承認を経て、候補者を決定いたします。

(庶務幹事 蓑島悠介・岸本年郎)

【公示】 2021年度奨励賞候補者の募集について

「日本甲虫学会 学会賞授与規程」に従い、今年度の「奨励賞」候補者を募集します。奨励賞は、「年齢35歳以下の若手会員を対象とし、過去数年間(5年程度)に、著しい成果を挙げ、将来を嘱望される会員に授与する」とことになっており、会員による他薦か自薦とし、候補者は、あらかじめ定める期限内に、簡単な履歴書および業績一覧を提出する、と定められております。

つきましては、会員各位の周辺で「奨励賞」に値すると思われる若手会員にお心当たりがある方、もしくはご自身で応募を希望する方は、以下の要領で選考委員長宛に推薦、または応募いただければ幸いです。手続き:推薦または応募理由書に、簡単な履歴書と業績一覧を添えて、メールで委員長宛に送付して下さい。

- ・書類の様式:任意
- ・宛先:野村周平(E-mail:nomura@kahaku.go.jp)
- ・応募または推薦期限:2021年9月30日

(学会賞選考委員会 委員長 野村周平)

本会のコロナ対策について

日本甲虫学会としてのコロナ対応指針について、以下の3つの対応を作成し、ホームページで公示することとしました。

- I. 大会、地方例会などの屋内でのイベント開催に関する対応
- II. 調査観察会など屋外でのイベント開催に関する対応
- III. 会員個人の調査や観察、採集の実施、および学会関連イベントの参加に関する対応

会員の皆さまにおきましては、IからIIIの対応についてご理解をいただき、指針に従って学会活動をしていただければ幸いに存じます。よろしくお願ひ申し上げます。

(<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/covid19.html>)

(会長 大原昌宏)
(自然保護委員長 荒谷邦雄)

月刊むし 定期購読のご案内

昆虫用品は むし社

月刊むし

B5判, 56~80頁 毎月25日発売
定価 1320円 (送料 120円)

「月刊むし」は、1971年3月に創刊された昆虫専門の月刊雑誌で、30年以上続いて発行されています。過去のバックナンバーの内容はむし社HPをご覧ください。

<http://mushi-sha.life.coocan.jp>



603号 (2021年5月号)

- 2020年の昆虫界をふりかえって
蝶界/甲虫界/トンボ界/蛾界

602号 (2021年4月号)

- 中国産セダカオサムシ類の新種、新亜種および希少種 (13)
- 「世界のブナの森と虫たち」その後
- 「飛騨のギフチョウ」その後
～5.松ノ木峠のギフチョウ～
- 基産地で捕れたヒコサンオオズナガゴミシのみ

「月刊むし」定期予約購読

本誌は一般書店での販売のほか、定期予約購読も行っております。定期予約の場合、送料は無料になりますので、ぜひご利用下さい。

6ヶ月予約	7200円 (税込み)	7920円
12ヶ月予約	14400円 (税込み)	15840円
24ヶ月予約	28800円 (税込み)	31680円

お申し込み方法

郵便振替用紙に「月刊むし予約」と明記のうえ、下記の口座あてにご送金ください。

郵便振替口座 00160-5-159262 むし社

新規お申し込みは、当月発売分よりとさせていただきます。

日本のコブヤハズカミキリ



コブヤハズカミキリ図鑑の決定版!

48ページのカラープレートにこれまでなかったスケールでコブヤハズ標本を掲載。いくつかの新亜種も記載されています。研究史、各地の愛好家による地域別情報、採集法、生態と観察、DNA、文献目録など、あらゆる面からコブヤハズが語られています。

高桑正敏・中林博之・小林敏男 編

A4判 162頁 (カラープレート 48頁)

定価 6,400円 [十税・送料サービス]

むし社 〒165-0034 東京都中野区大和町 1-4-2 白鳳ビル 302 TEL: 03-5356-6416 FAX: 03-5356-6452